

【授業科目】慢性看護学特論Ⅱ（疾患の理解と看護援助）

Advanced Chronic Illness Nursing II

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
杉崎一美	1年次 後期	選択	2	30	講義	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	慢性的な健康問題をもつ患者の疾患を理解し、事例を用いて患者・家族が抱える問題・課題を明確にし、看護実践方法を探求する。 課題に対するフィードバック方法/プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。					
授業の位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	① 慢性的な健康問題をもつ患者の疾患・治療・検査について説明できる。 ② 慢性的な健康問題をもつ患者・家族が活用できる社会資源や、療養の場における調整方法を述べるができる。 ③ 慢性的な健康問題をもつ患者・家族の倫理的課題について検討し、対応について探求することができる。					
時間外学習に必要な内容・時間	事前学習は各回に関係する文献を読んでおく(2時間)。事後学習は学んだ理論・概念を用いて事例を展開し、学びを応用に結び付ける(2時間)。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。					
授業計画	第1回 慢性疾患の現状と動向 第2,3回 慢性疾患(糖尿病)をもつ患者と家族への看護 1,2 第4,5回 慢性疾患(腎臓病)をもつ患者と家族への看護 1,2 第6,7回 慢性疾患(心疾患)をもつ患者と家族への看護 1,2 第8,9回 慢性疾患(呼吸器疾患)をもつ患者と家族への看護 1,2 第10,11回 慢性疾患(脳血管疾患)をもつ患者と家族への看護 1,2 第12,13回 慢性疾患(がん疾患)をもつ患者と家族への看護 1,2 第14回 地域連携システムの現状と今後の課題 第15回 倫理的課題への対応と今後の課題					全て杉崎
評価方法 評価基準	課題に対するプレゼンテーション、レポートなどによって総合的に評価する。					
教科書	教科書は指定しない。 適宜、資料配付や文献を紹介する。		参考書等	講義内で随時紹介する。		